

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業 286社、回答企業 181社、回答率 63.3%
調査対象期間	2022年7～9月期の実績見込み、10～12月期および2023年1～3月期の予想
調査時点	2022年9月上旬～下旬

※ 1～3月期をⅠ期、4～6月期をⅡ期、7～9月期をⅢ期、10～12月期をⅣ期とする。

要約

2022年7～9月期の業況判断(季節調整済)は悪化 先行き10～12月期は大幅な改善の一方、1～3月期は再び悪化する見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断 BSI (季節調整済)について、2022年4～6月期と比べ2022年7～9月期(Ⅱ期→Ⅲ期: $\Delta 16 \rightarrow \Delta 25$ ($\Delta 9$ ポイント))は悪化した。なお、前回調査時の予想($\Delta 26$)と比べるとほぼ横ばい。業種別では、製造業(同: $\Delta 25 \rightarrow \Delta 31$)、非製造業(同: $\Delta 11 \rightarrow \Delta 22$)はともに悪化しており、コロナ第7波感染拡大や原材料およびエネルギーの価格上昇、円安の加速などの影響が強く現れている。また、売上げ BSI (同: $\Delta 1 \rightarrow \Delta 7$)、収益 BSI (同: $\Delta 12 \rightarrow \Delta 19$)も悪化した。

先行きの業況判断 BSI のⅣ期予想は7と大幅に改善するも、続く2023年Ⅰ期予想は $\Delta 11$ と再び悪化に転じる見通し。コロナ対策としての行動制限などが緩和され、イベント等の開催や全国旅行支援の開始、水際対策の緩和など人流増加の見込みを受け、年末にかけては持ち直しへの期待が大きい。一方で、年明け以降は先述の種々の価格上昇や円安の加速などに対する不透明感、また人流増加に伴うコロナ感染拡大への懸念が依然根強い。

2022年Ⅲ期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ1.9ポイント低下、総投資額は約267億円で同19.8%減少した。業種別では、製造業が同17.5%減、非製造業が同41.2%減とともに減少した。先行きⅣ期の計画は、実施企業の比率は前年同期より4.0ポイント低下、総投資額は約187億円で同79.1%減、続く2023年Ⅰ期は、約163億円で同64.9%減とマイナスが続く見込み。もっとも、2021年Ⅳ期、2022年Ⅰ期の総投資額が過去の実績と比較しても高く、前年同期に大規模な投資が行われた反動がみられる。

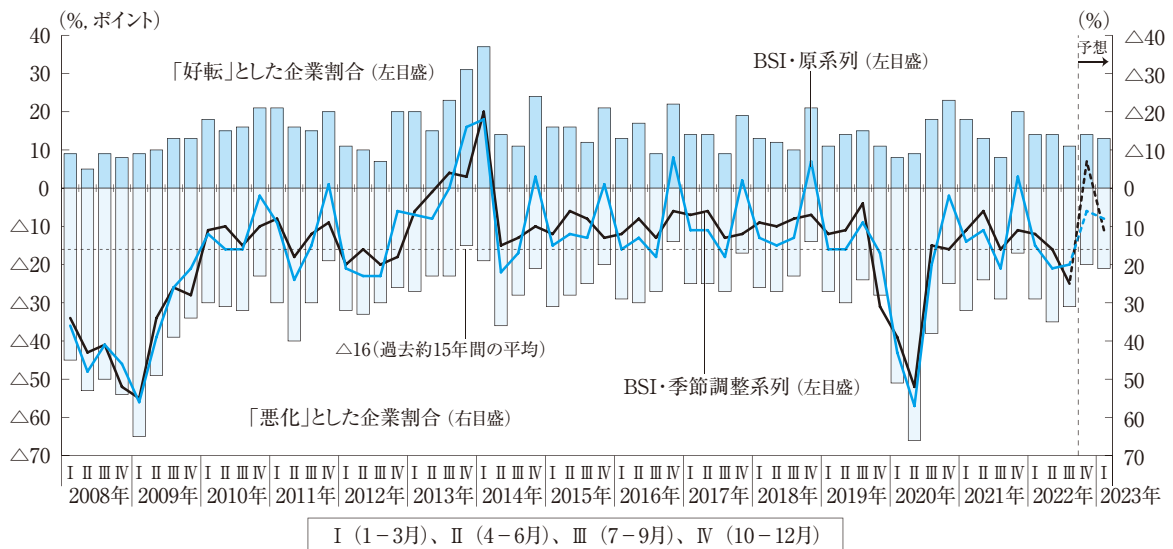
なお、今後1年間の設備投資意欲については、Ⅱ期と比べ、製造業は大幅に悪化した一方、非製造業はやや改善している。

1. 概況
(全業種)

【2022年7～9月期の実績見込み】 業況判断は悪化

県内企業のⅢ期のBSI（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値（季節調整済）をみると、Ⅱ期と比べ、業況判断BSI（△16→△25）、売上げBSI（△1→△7）、収益BSI（△12→△19）とすべての項目で悪化した。コロナ第7波感染拡大や不安定な国際情勢、円安の加速によるさらなる原材料やエネルギーの価格上昇などが、不透明感を強めている。

企業経営者による業況判断

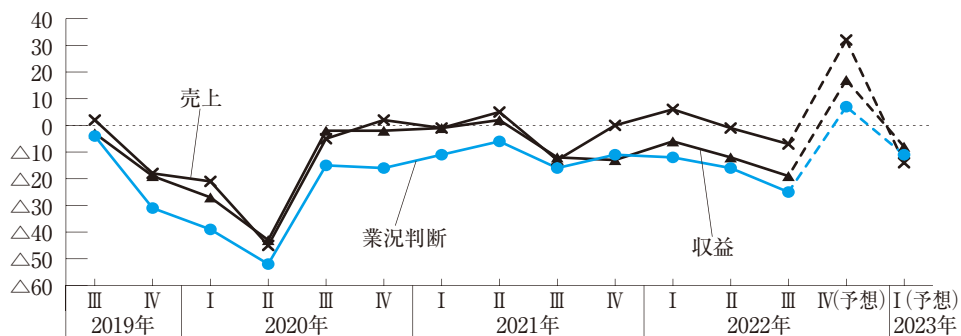


注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

【10～12月期・2023年1～3月期の予想】 業況判断は、Ⅳ期は大幅に改善するも、2023年Ⅰ期は再び悪化に転じる見通し

Ⅳ期の予想は、Ⅲ期に比べ、業況判断BSI（△25→7）、売上げBSI（△7→32）、収益BSI（△19→17）すべての項目で大幅に改善する見通しである。なお、この業況判断BSIは、

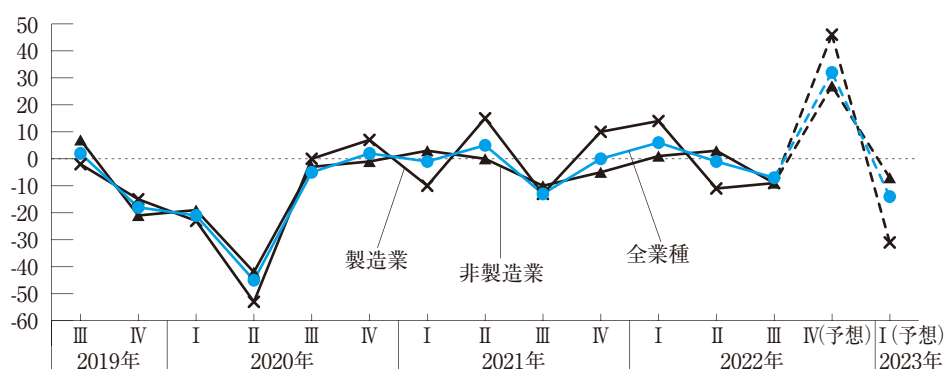
全業種BSI



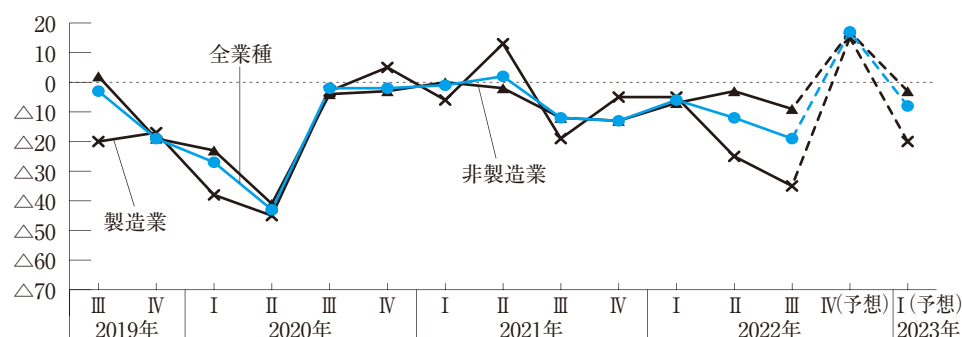
過去約15年(2007年Ⅳ期以降)の平均(△16)を上回る水準である。続く2023年Ⅰ期は、業況判断BSI(7→△11)、売上げBSI(32→△14)、収益BSI(17→△8)は再び悪化に転じる見通し。

コロナ対策としての行動制限などが緩和され、人流増加などへの期待感が大きい一方で、年明け以降は、種々の価格上昇や円安の加速などに対する不透明感、また人流増加に伴うコロナ感染再拡大への懸念が依然根強い。

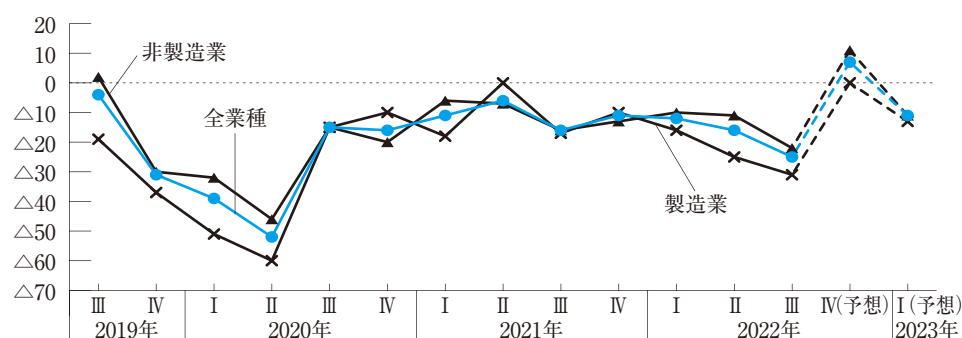
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

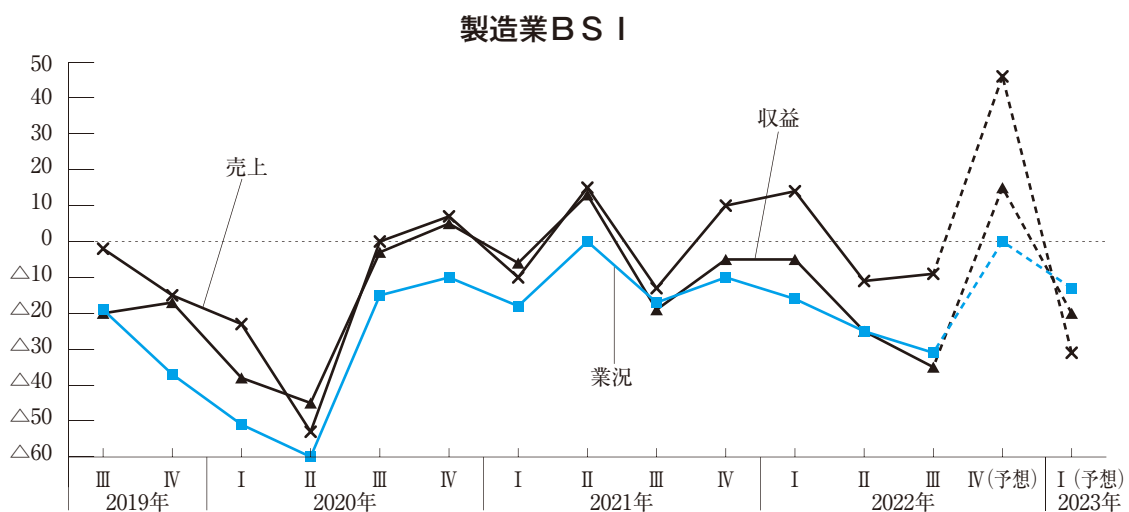
【製造業の現状】 業況判断は悪化

Ⅲ期は、Ⅱ期と比べ、業況判断BSI ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 31$)、収益BSI ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 35$)は悪化の一方、売上げBSI ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 9$)はやや改善した。円安の進行や原材料およびエネルギーの価格上昇などがより一層深刻さを増しており、コスト増加分を販売価格に転嫁しきれていない可能性が考えられる。

【先 行 き】 業況判断はⅣ期に改善するも、2023年Ⅰ期は再び悪化の見通し

Ⅳ期の予想をみると、Ⅲ期に比べ、業況判断BSI ($\Delta 31 \rightarrow 0$)、売上げBSI ($\Delta 9 \rightarrow 46$)、収益BSI ($\Delta 35 \rightarrow 15$)は大幅な改善となっている。続く2023年Ⅰ期の予想は、Ⅳ期に比べ、業況判断BSI ($0 \rightarrow \Delta 13$)、売上げBSI ($46 \rightarrow \Delta 31$)、収益BSI ($15 \rightarrow \Delta 20$)とすべての項目で大幅な悪化に転じる見通し。

業況判断BSIについては、コロナ対策としての行動規制緩和への期待感の高まりが年末にかけての先行きに現れている。一方で、原材料およびエネルギー価格の上昇や半導体不足などの影響が引き続きみられるほか、円安の加速、国際情勢悪化に伴う経済活動の停滞などの懸念材料が依然として根強く、年明け以降の先行きの不透明感につながっている。



3. 非製造業の動向

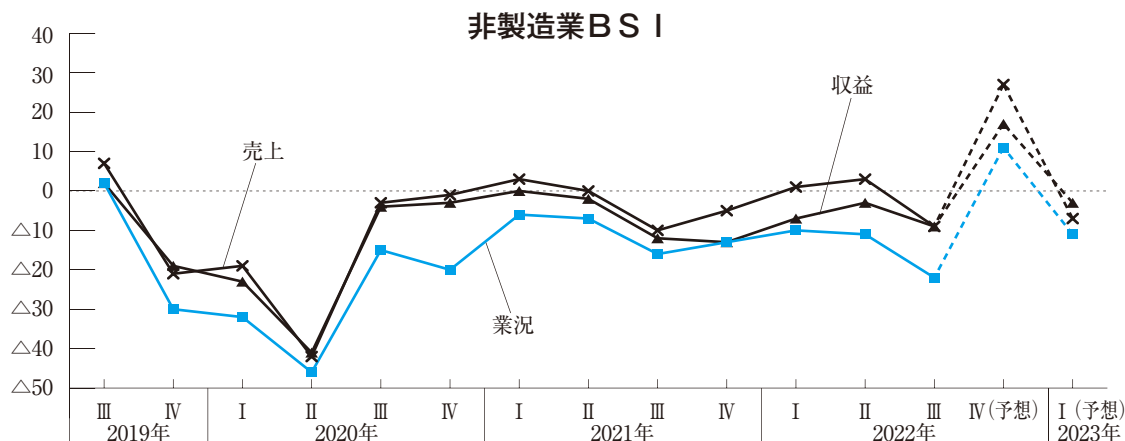
【非製造業の現状】 業況判断は悪化

Ⅲ期は、Ⅱ期に比べ、業況判断BSI ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 22$)、売上げBSI ($3 \rightarrow \Delta 9$)、収益BSI ($\Delta 3 \rightarrow \Delta 9$)すべてで悪化した。業況判断BSIについては、コロナ第7波感染拡大の影響が大きく、行動自粛の動きが一部で強まったことや、円安を起因とする物価上昇などが影響している。

【先 行 き】 業況判断は、Ⅳ期は改善するも、2023年Ⅰ期は悪化に転じる見通し

Ⅳ期以降の予想をみると、先行きの推移（Ⅲ期→Ⅳ期→2023年Ⅰ期）は、業況判断 BSI（△22→11→△11）、売上げ BSI（△9→27→△7）、収益 BSI（△9→17→△3）とⅣ期に改善するも、Ⅰ期には大幅に悪化する見通し。

業況判断 BSI については、年末にかけてはコロナ対策としての行動規制が緩和され、全国旅行支援などの施策により人流が増加し、消費が喚起されることなどへの期待感が現れている一方、年明け以降は、食料品やエネルギーの価格上昇などによる不透明感が根強い。

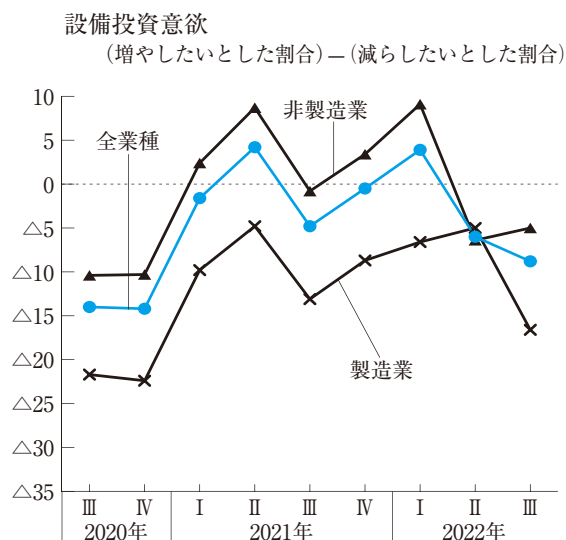


4. 設備投資の動向

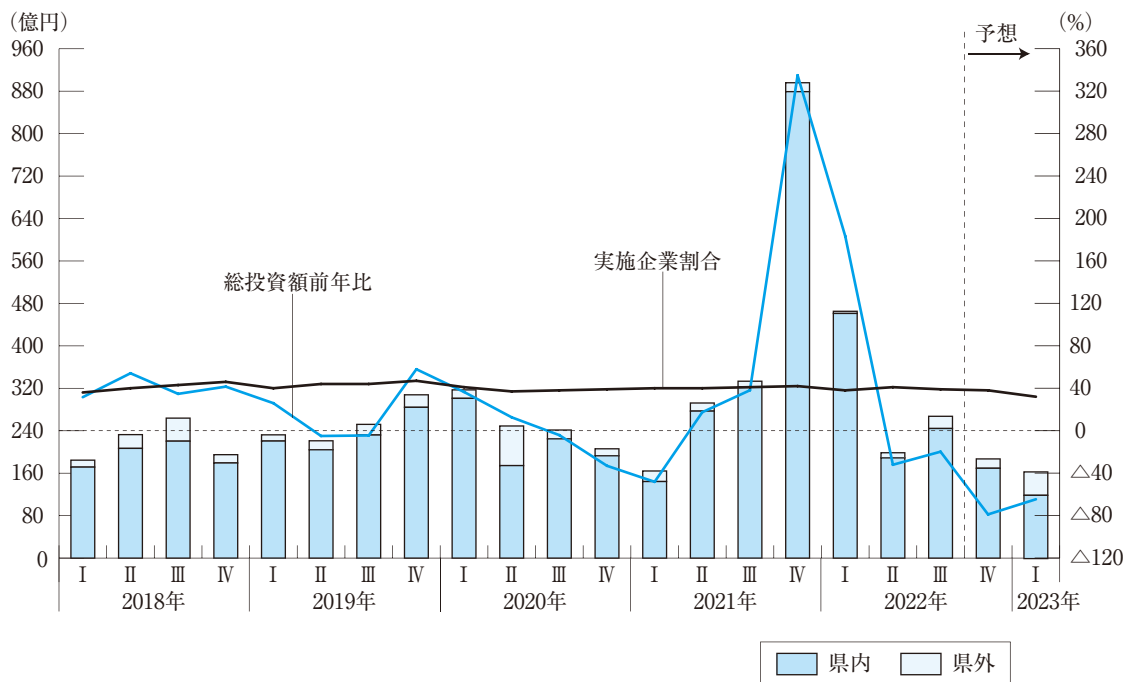
回答企業（全産業）のうち、Ⅲ期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の39.2%、総投資額は267億26百万円（県内投資額は244億27百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は全体で19.8%減（Ⅱ期比34.6%増）で、内訳は製造業が同17.5%減、非製造業が同41.2%減であった。なお、実施企業の割合は、同1.9ポイント低下した。

先行きの計画をみると、Ⅳ期の実施企業割合は37.6%で前年同期より4.0ポイント低下、総投資額は約187億円で前年同期比79.1%減、続くⅠ期の総投資額は約163億円で同64.9%減となる見込み。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が12.7%、「減らしたい」が21.5%、「ほぼ変わらない」が65.7%であった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、全産業で△8.8ポイント（Ⅱ期△6.0ポイント）と2期連続でマイナスとなった。業種別では、製造業が△16.6ポイント（同△5.0ポイント）と大幅に低下、非製造業は△5.0ポイント（同△6.4ポイント）とやや上昇している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

Ⅲ期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、56.7%で前年同期より4.0ポイント低下した。総投資額は、247億90百万円（前年同期300億47百万円）で、大手の化学、電気機械などで減少したことを主因に、前年同期比17.5%減少となった。うち、県内投資額は232億円（同290億63百万円）であった。

設備投資を目的別にみると、Ⅱ期と比べ、「合理化・省力化」、「研究開発」などの比率が低下した一方、「増産・拡販のため」、「既存設備の補修更新」、「環境対策」で上昇した。

先行きの計画をみると、Ⅳ期の総投資額は約146億円で前年同期比83.2%減、続くⅠ期は約139億円で同68.5%減の見込み。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（11.7%）が「減らしたい」（28.3%）を16.6ポイント下回り、11期連続でマイナスとなった。

非製造業

Ⅲ期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、30.6%で前年同期より0.9ポイント低下した。総投資額は19億36百万円（前年同期32億90百万円）で、運送業や卸売業、小売業で減少し、同41.2%減となった。県内投資額は12億27百万円（同32億円）となっている。

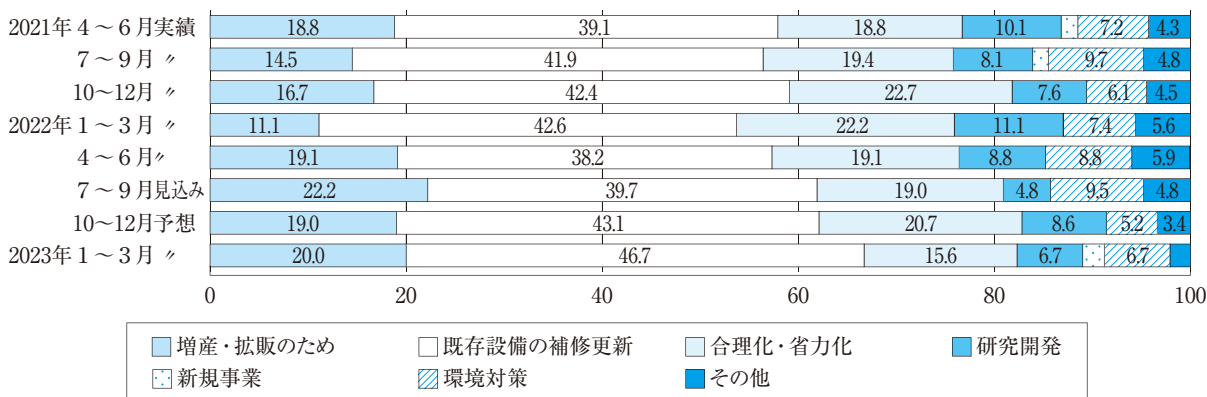
目的別にみると、Ⅱ期と比べ、「既存設備の補修更新」、「拡販のため」、「店舗等の移転」などの比率が低下した一方、「合理化・省力化」、「研究開発」で上昇した。

先行きの計画をみると、Ⅳ期の総投資額は約41億円で前年同期比58.4%増、続くⅠ期は約25億円で同0.8%減となる見込み。

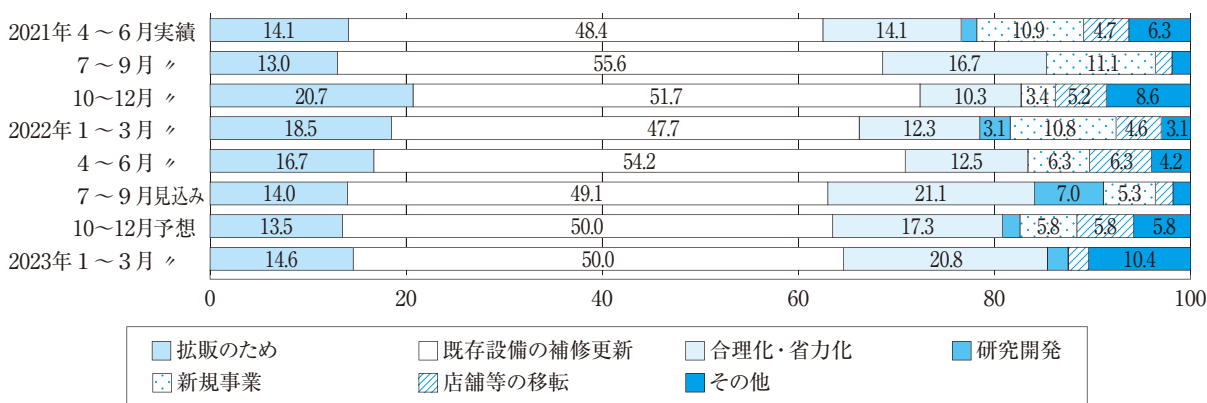
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（13.2%）が「減らしたい」（18.2%）を5.0ポイント下回り、2期連続のマイナスとなった。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	2	0	2
	1～3百万円未満	0	0	0
	3～5百万円未満	2	0	2
	5～10百万円未満	4	1	3
	10～50百万円未満	101	28	73
	50～1億円未満	46	20	26
	1億円以上	26	11	15
	計	181	60	121
従業員数	10人未満	19	3	16
	10～30人未満	33	12	21
	30～50人未満	37	10	27
	50～100人未満	34	9	25
	100～200人未満	26	7	19
	200～300人未満	16	9	7
	300～	16	10	6
計	181	60	121	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		12
	繊維製品		3
	木材・木製品		8
	パルプ・紙		3
	化学工業		8
	窯業・土石		3
	機械・金属		16
	その他		7
	計		60
非製造業	建設業		15
	運送業		11
	卸売業		31
	小売業		28
	サービス業		35
	その他		1
計		121	
総数		181	

参考資料

B S I

(1) 概判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年1～3月実績	18	50	32	△14	△11	16	46	38	△22	△18	19	52	29	△10	△6
4～6月々	13	63	24	△11	△6	16	65	19	△3	0	12	61	27	△15	△7
7～9月々	8	63	29	△21	△16	5	65	30	△25	△17	10	61	29	△19	△16
10～12月々	20	63	17	3	△11	26	53	21	5	△10	18	66	16	2	△13
2022年1～3月々	14	57	29	△15	△12	11	58	31	△20	△16	15	57	28	△13	△10
4～6月々	14	51	35	△21	△16	7	57	36	△29	△25	17	48	35	△18	△11
7～9月見込み	11	58	31	△20	△25	17	43	40	△23	△31	8	66	26	△18	△22
10～12月予想	14	66	20	△6	7	13	59	28	△15	0	14	69	17	△3	11
2023年1～3月々	13	66	21	△8	△11	13	65	22	△9	△13	13	66	21	△8	△11

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年1～3月実績	27	32	41	△14	△1	21	23	56	△35	△10	30	37	33	△3	3
4～6月々	30	40	30	0	5	42	34	24	18	15	24	43	33	△9	0
7～9月々	23	39	38	△15	△13	23	33	44	△21	△13	23	42	35	△12	△10
10～12月々	40	40	20	20	0	57	26	17	40	10	32	47	21	11	△5
2022年1～3月々	28	37	35	△7	6	30	29	41	△11	14	27	41	32	△5	1
4～6月々	29	36	35	△6	△1	31	30	39	△8	△11	28	39	33	△5	3
7～9月見込み	26	44	30	△4	△7	33	34	33	0	△9	22	49	29	△7	△9
10～12月予想	29	54	17	12	32	37	41	22	15	46	26	59	15	11	27
2023年1～3月々	22	54	24	△2	△14	22	50	28	△6	△31	21	57	22	△1	△7

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年1～3月実績	28	37	35	△7	△1	28	28	44	△16	△6	28	41	31	△3	0
4～6月々	26	43	31	△5	2	35	39	26	9	13	21	45	34	△13	△2
7～9月々	20	43	37	△17	△12	18	39	43	△25	△19	21	45	34	△13	△12
10～12月々	30	45	25	5	△13	47	22	31	16	△5	23	55	22	1	△13
2022年1～3月々	24	41	35	△11	△6	26	33	41	△15	△5	22	46	32	△10	△7
4～6月々	21	39	40	△19	△12	22	27	51	△29	△25	21	44	35	△14	△3
7～9月見込み	22	42	36	△14	△19	20	32	48	△28	△35	22	48	30	△8	△9
10～12月予想	20	60	20	0	17	23	47	30	△7	15	18	67	15	3	17
2023年1～3月々	19	58	23	△4	△8	20	50	30	△10	△20	19	61	20	△1	△3

(注) B S I = (好転) - (悪化)